



ねっとわーく広報

第 8 号



夏空に雲の峰がひととき高く立つところとなりました。構成員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。麦刈り、水稻作業を経て、いよいよ農繁期も本番を迎えております。梅雨明けと共に増していく夏の酷暑にお身体を崩されぬよう、ご自愛ください。皆様の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ネットワーク大津(株) 4、5、6 月の主な行事

- | | |
|--|----------------------------------|
| 4/4 麦間直播試験播種作業 | 5/25・26 水稻育苗作業(後半) |
| 4/5～10 JA 平成 30 年度新入職員研修会農家実習受け入れ | 5/25 作業委託管理費の支払い(平成 29 年産産地資金精算) |
| 4/17 オペレーター安全講習会 | 5/28 乾田直播試験(播種) |
| 4/17 作業委託管理費の支払い(平成 29 年産大豆精算) | 5/30 農研小麦 1 号刈取り |
| 4/23 平成 30 年水稻農作業台帳・大豆農作業委託申込書・作業員オペレーター登録書配布 | 6/1～3 小麦刈取り |
| 5/9 菊池管内地域営農法人経営向上研修会参加 | 6/6 畜産競争力強化コンソーシアム会議参加 |
| 5/14・15JA 菊池大津中央支所営農課カントリー提出出荷契約 ネットワーク大津契約分取りまとめ(個人出荷分) | 6/7～26 育苗納品 |
| 5/17 県農林水産部部長視察 | 6/11～19 代かき |
| 5/17～27 大麦刈取り | 6/14～22 田植え 6/29 主食用米田植え(最終日) |
| 5/21 水稻育苗作業(前半) | 6/29 田植え体験(開催中止) |
| 会議 定例取締役会 4/2・4/23(臨時)・5/7・6/4 班長会議 4/17・5/7 TMR 製造に関する会議 4/2・4/17・4/18・5/16・5/22・6/12・6/26・6/27 | |
| 未来税務会計事務所月次監査 4/25・5/29・5/5・6/5 | |



今回、屋外の育苗用シートには、保湿性に優れたアルミ製の本州太陽シートを使用しました。

あきまさり	2,803 箱
夢あおば	6,599 箱
夢あおば密苗	30 箱
ヒノヒカリ	844 箱
やまだわら	194 箱
ヒヨクモチ	78 箱
総生産数	10,548 箱

ることによって作業効率の向上、生産条件の安定を図り、増加した生産数に昨年と同じ日数にて対処することが出来ました。来年の課題としては、降雨時、シートに溜まる雨水の対処や作業員の適切な配置等、育苗期間における問題点の解決を目指し作業に励みます。

麦刈りも行われる中、作業員の皆様の協力の下、約 1 万もの育苗播種を無事終わらせることが出来ました。作業員の方々大変お疲れ様でした。



給機、自動ハコツミ機を導入す



年々生産数が増加している水稻育苗作業ですが、今年も昨年の 7 千 9 百 5 7 箱を大きく上回る 1 万 5 千 4 百 8 箱を生産しました。今回は 5 月 21 日、5 月 25・26 日と作業を 2 回に分け行い、前半分の苗をハウス内へ、後半は全て隣接した圃場内へ振り分けました。今年も蒸れるような環境での作業でしたが、倉庫下屋の完成により昨年と比べ作業環境の改善が出来たと思います。また、床土投入時のフレコン受けとして木枠を設置し、圃場内への運搬にスロープを設けたことを始め、使用する苗箱の統一、苗箱供

水稻育苗

平成 30 年水稲防除散布機計画

昨年、試験的に開始したドローンによる水稲防除作業はその作業実績、効果を踏まえた上で、本年度から内牧、外牧、錦野、上陣内、鍛冶



の 5 集落(総作業面積約 44 ha)の主食用米、WCS、飼料用米を対象に散布作業を行います。ドローンによる農薬散布は管理機と比べ、非常に高い散布濃度となりますので、水田付近の家屋では窓を閉め、洗濯物等は屋内に入れて下さい。散布当日は安全等に配慮し実施致しますので、散布予定地区の住民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年水稲防除散布機計画

散布作物	主食用米	WCS	飼料用米
委託面積	41,010m ²	182,600m ²	216,860m ²
使用農薬	アプロードモンカットエア	スタークル液剤10	スタークル液剤10
散布濃度	8倍	8倍	8倍

平成 30 年度全国農業システム化研究会

昨年の人参に続き、本年も全国農業システム化研究会の現地実証調査をネットワーク大津株式会社で実施することとなり、熊本県北広域本部農業普及・振興課、クボタアグリサービス(株)を交え、5月28日に麦収穫後の圃場で飼料用米(SGS)の夢あおばを播種しました。当事業では、飼料用米・大豆・麦類すべての播種・収穫作業を同一機械で行い、大規模集落営農法人における水田作の省力・低コスト化、作業分散による効率化を目指します。



同一機械による作業として、人参の際にも使用したパワクロトラクタ(写真右)に一発耕起播種機トリプルエコロジーを使用した耕起同時播種作業を始め、収穫面に関しては全作通して汎用コンバイン(写真下)を使用することで経営全体のコスト低減を図ります。



試験圃場

陣内 榎鶴 1115-3

播種後 1 か月経過した 6/28 現在の様子

オペレーター安全講習会

4月17日、当社に



てオペレーター安全講習会が開かれました。13集落50名のオペレーターが参加し、当社格納庫下屋にてトラクターのメンテナンス方法、会議室では設問等を踏まえた安全講習を受けました。これから始まる農繁期に備え、参加した

オペレーターの皆様と共に安全意識を高めました。

雨も降りしき中、機械メンテナンスの重要性を学び、指導員から説明を受けた参加者からは、様々な質疑応答が行われていました。



麦刈り

5月17日から27日に大麦の



刈取りを、5月30日に農研小麦1号、6月1日から4日までの期間で小麦の刈取り作業を行いました。今年は強い寒波の影響で、麦の生育に遅れが生じ、刈取りに影響があるのでは心配されていました。春ごろの気温上昇に助けられ、通年通り

に刈取り作業を行うことが出来ました。また、今回小麦の刈取りの際には、大豆の収穫作業に使用していた、汎用コンバインWRH

1000cを麦刈り仕様へと換装し、

作業に当たりまし

た。カッター処理し

か出来ませんが、刈

取り作業には問題な

く、倒伏した麦の刈

取りにも強いその汎

用性を遺憾なく発揮

しました。



田植え

6月14日から22日ま

での期間で田植え作業を行いました。今回の田植えでは、井関農機、クボタアグリサービス(株)2社のメーカーから実演機として最新鋭のGPS搭載モデル田植機をお借りし、作業に臨みました。両機の特徴としてGPSによる位置情

報の送信により、圃場内での直進行動を自動運転で

制御することが出来、作業員による仕上がりのバラ

つきや作業時の疲労が軽減されます。

今回、農業の高精度化や効率化の進歩を体感でき

た良い機会となりました。



GPS 搭載モデルは、機体上部に伸びる GPS 関係ユニットが外観の特徴として目を引きます。



飼料用米(S G S ・ 玄米)の農薬・肥料注文について

4 月 2 日の定例取締役会議にて、30 年産飼料用米の精算はプール精算が考えられ、支出における資材関係のプールの為に肥料と箱防除の注文を統一する提案が挙がりました。協議の結果、飼料用米の精算方法で以下の内容に決定されました。

肥 料 … 飼料用米すご稲

箱防除 … デジタルバウアー箱粒剤



4 月に JA の新入職員農家研修として弊社に受け入れることとなった山村さん(左)との 1 枚。農作業は初めてのことでしたが、真面目に仕事をこなしてくれました。



引水 月尾取締役の協力の下、ゴーヤと朝顔のグリーンカーテンを始めました！

今後の予定

毎月 第 1 月曜日 定例取締役会議

7 月中旬 大豆播種

8 月中旬 第 1 回大豆防除

7 月下旬 稲わら契約書の配布

8 月下旬 第 2 回水稻一斉防除

8 月上旬 第 1 回水稻一斉防除

9/3 定時株主総会

8 月上旬 農作業受託契約書の取りまとめ

9 月上旬 第 2 回大豆防除

8 月上旬 下期監査

9 月下旬 オペレーター研修会



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：齊藤洋征

広報責任者：國武誠司・右田哲章